



2021年3月12日

各位

会社名 扶桑化学工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 杉田 真一
 (東証第1部・コード番号: 4368)
 問合せ先 執行役員管理本部長 伊藤 裕之
 (TEL. 03-3639-6311)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年3月12日開催の取締役会において、2020年5月8日に公表した2021年3月期通期の業績予想および配当予想を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,200	8,150	8,250	5,600	157.73
今回修正予想 (B)	41,600	9,500	9,500	6,600	185.89
増減額 (B-A)	△600	1,350	1,250	1,000	
増減率 (%)	△1.4	16.6	15.2	17.9	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	41,310	8,830	8,954	7,014	197.56

(参考) 減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費) (%表示は増減率)
 今回修正予想 14,520 百万円 (7.2%) 前回発表予想 13,550 百万円 (1.4%)

修正の理由

ライフサイエンス事業では、リンゴ酸の海外向け販売は順調に拡大しておりますが、産業向け製品の売上低下や米国市場低迷の影響を受け、2020年5月8日に公表した計画値(当初計画)を下回りました。

一方、電子材料および機能性化学品事業においては、急速なデジタル化の進展による半導体需要が加速してきており、主力製品である超高純度コロイダルシリカの販売が好調に推移し、売上・利益ともに当初計画を上回る見込みです。

このような状況を踏まえ、通期における業績を改めて精査した結果、売上高は当初計画を下回りますが、生産性の向上および継続的なコスト削減効果により、利益面では上回る見込みとなりましたので、連結業績予想を修正いたします。

●配当予想の修正について

2021年3月期配当予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (2020年5月8日発表)		23.00	46.00
今回修正予想		25.00	48.00
当期実績	23.00		
前期実績 (2020年3月期)	23.00	23.00	46.00

修正の理由

当社は、剰余金の処分につきましては、長期にわたり安定的に株主の皆様へ報いるという基本方針のもと、企業体質の強化ならびに今後の事業展開を勘案して行うこととしております。

今回の業績予想の修正を踏まえ、株主の皆様のご支援にお応えするため、2020年5月8日に発表いたしました2021年3月期の期末配当予想を上記の通り修正（増配）いたします。

なお、本件につきましては、2021年6月開催予定の当社第64期定時株主総会に付議する予定であります。

※上記の予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上